



小値賀だから、 できること

おぢかの島々を豊かに旅するための手引き

A Guide to Enjoying Your Time on Ojika Island.

2023年4月発行：小値賀町  
<http://ojika.net>

1	着いた港で朝日を望む.....	P02
2	島の魚や野菜を物色する.....	P04
3	島の人と話してみる.....	P04
4	島の路地に迷い込む.....	P05
5	朝ごはんでエネルギーチャージする.....	P06
6	自転車で島一周にチャレンジする.....	P07
7	素晴らしい景色に、身を委ねる.....	P08
8	赤い砂浜で宝物を探す.....	P10
9	珍しい奇石と出会う.....	P10
10	全身で海を感じる.....	P11
11	活版で、オリジナルポストカードをつくる.....	P12
12	もっと島を深掘りしてみる.....	P12
13	島ランチ&島カフェでリラックスする.....	P13
14	今日の夕食を自分たちでゲットする.....	P14
15	島のおうちで、まるで親戚のように過ごす.....	P15
16	夕日をひとりじめる.....	P16
17	築100年を超える古民家に泊まる.....	P18
18	島の宿でホッとひといきつく.....	P20
19	古くからの営みに敬意を払う.....	P21
20	世界遺産で心を震わす.....	P22
21	島の守り神と対面する.....	P23
22	地と沖の神様を、一度に拜む.....	P24
23	遣唐使からの時代に思いを馳せる.....	P25
24	島のごちそうと人情に触れる.....	P26
25	島ならではのおみやげを買う.....	P28
26	頭の中に島の地図をつくる.....	P30
27	島のことをまじめに知る.....	P34
28	帰るときには「また来るね」と約束したくなる...	P34
29	ワクワクと島旅の計画に胸を躍らせる.....	P35



長崎県 小値賀町 総合観光パンフレット

着いた港で 朝日を望む

Watch the sunrise from
the ferry terminal.



もしあなたがフェリー「太古」で小値賀に着いたとしたら、きっと早朝4時40分のはず。フェリーターミナルで日の出の時間をチェックして仮眠室で一休みしたら、まだ朝ぼらけの港へ出てみることをおすすめします。そこでは、これから始まる小値賀の旅を予感させる、印象的な朝の時間が待っています。まだ暗い海に徐々に光が差し新しい一日が始まる様は、毎日繰り返されているはずなのになぜか特別な景色に見えます。

島の人もまた、朝の時間に魅了されています。岸壁で朝日談義に花が咲くかもしれません。

いま小値賀でしたいこと

「おいしいものが食べたい」

「驚くようなものが見たい」

「初めての体験をしたい」

かつてこれらが

旅の目的だったことがあります。

けれど最近は、旅でやりたいことが

少し変わってきました。

「日常から離れた体験がしたい」

「身も心もゆっくりしたい」

「なんにもしない旅も新しいかも」

そんな方は、小値賀においでください。

島に到着して、まずは深呼吸。

ゆっくり島を歩き、島の人となにげない

会話を交わし、

海の青さに癒やされ、

夕日の美しさに心を揺さぶられる。

帰る船に乗り込む時に

「また来ます」と約束したくなる。

なんにもないけど、なぜか豊か。

いま多くの方が本当にやりたいことが

小値賀にはたくさん詰まっています。



What You Can Do
2
on Ojika Island

島の魚や野菜を 物色する

Check out the island's fish and vegetables.

海に囲まれた小値賀島なのに、島には魚屋がありません。というのも魚が欲しい人は、みんな港の漁協に直接買いに行くから。野菜だって島の農家が持ち寄る「あい菜市」で手に入れるのが小値賀流です。「今日はイサキがきれいかな」「ほうれん草が立派」。島のうまいものは、島民にならうべし。いずれも早々に売り切れてしまうので、お買い求めの際はお早めに。

◇宇久小値賀漁業協同組合／営業時間 8:00~17:00 不定休
◇あい菜市／月・水・土曜 朝7:00~ 笛吹港はまゆうのりば横



Multilingual



路地を歩いていると、島の人とすれちがいます。「こんにちは」「どこから来たつね?」「なんもなかけど空気はきれいかよー」。ふだんは知らない人と言葉を交わすなんてめったにないのに、島だとそれがあたりまえに思えるから不思議です。言葉を交わせるのは人だけじゃありません。路地のそこそこで出会うおぢかネコへの一言挨拶も忘れずに。「こんにちは、おじゃましています」。

What You Can Do
3
on Ojika Island

島の人と話してみる

Greet the islanders.



What You Can Do
4
on Ojika Island

島の路地に 迷い込む

Get lost in the back alleys.

フェリーターミナルから島に足を踏み入ると、まるで映画のワンシーンのような路地に迷い込みます。江戸時代には捕鯨で栄えた小値賀島。港に近いこのあたりは多くの漁師たちが住む賑やかなエリアでした。ぎゅうぎゅうと押し合うように小さな家が建ったのは、みんなが家ではなく船にお金を費やしたからなのだから。風向きによってどこからともなく、魚の生節を焼く香りが漂ってくることもあったり、五感が刺激されるような風景です。笛吹郷という名の通り、“ピュウピュウと笛の音が鳴るように”よく風が吹き通るノスタルジックな路地は、国の重要文化的景観にも選ばれています。



Multilingual



What You Can Do
on Ojika Island

5

朝ごはん エネルギーチャージ する

Grab some breakfast.

島の朝は早い。しっかり朝ごはんを食べて、一日の活動に備えましょう。古民家をオーナー自ら改装した「Cafe 魚々菜」では、鍋で炊いたごはんと焼きたての島の魚をつかった小値賀の食材で作られた手づくり朝ごはんが味わえます。パン派のあなたは、「こじこじぱん」へどうぞ。こちらも島の食材が豊かな滋味を醸し出しています。「じゃがバター」の魚醤のパンや「塩パン」が人気。テイクアウトして海を見ながら食べるのもおすすめです。

朝食が
食べられる・買えるお店



Multilingual



MAP-P30

【パン】こじこじぱん 住所:小値賀町笛吹郷 1840、電話:なし
営業時間:6:30~ 売り切れ次第終了、定休日:水・木曜日



MAP-P32

【パン】TASHIRO Bakery (タシロベーカリー) 住所:小値賀町笛吹郷 1900、
電話:070-3248-0985、営業時間:9:00~ 売り切れ次第終了、
定休日:日・月・火



MAP-P30

【朝ごはん・ランチ・カフェ】Cafeごはん 魚々菜(ととな) 住所:小値賀町笛吹郷 1809、
電話:0959-42-5590、営業時間:7:00~9:00/10:00~15:00/夜は予約制
定休日:月曜日



古民家ステイにお泊まりの場合は、IHコンロと基本的な調理器具、食器類を完備していますので、自炊が可能です。

ご滞在いただきながら食を楽しんでいただけるプランもご用意しております。

古民家ステイの食について、詳しくはこちら

「おぢか島旅」



What You Can Do
on Ojika Island

6

自転車で 島一周に チャレンジする

Explore the island on two wheels.

五島列島の他の島に比べてなだらかな地形の小値賀島なので、レンタサイクルで島を一周してみるのもおすすめ。島の絶景や暮らしをゆっくり感じるには、自転車のスピードがピッタリなのです。島の真ん中を縦断する道沿いに並ぶ松が美しい「姫の松原」や小値賀島と斑島を結ぶ「斑大橋」は、ぜひ訪れて欲しいポイント。海風を感じながら約4時間かけて島一周を巡る頃には、もっと島と仲良くなったような気持ちになります。レンタサイクルは、宿で準備されているところもありますし、小値賀港フェリーターミナルでも借りることができます。



Multilingual



レンタサイクルについて、詳しくはこちら
「おぢか島旅」

